

秋葉百八風鈴灯の様子と概要



このアーチは延長したいと考えているため、拡張分に相当する。

石段を上がった参道には、竹で作ったアーチを。
そこでは市内から集めた風鈴が、石段を吹き上がる風に揺られ、鈴の音を鳴らす。
願い事が書かれた絵馬もここに。絵馬は火祭りで護摩に焚く。

赤一色のイルミネーションは火をイメージしたもの。
公園の松も赤く照らされ幻想的に。



**この箇所は栃尾青年会議所によるものだが、
次年度は栃尾青年会議所ではこの予算の捻出は
困難となるため実施に支援が必要。**



秋葉百八風鈴灯の様子と概要 2



謙信公像のそばに建てられた巨大な秋葉三尺坊のフラッグ。
左右の文字は栃尾高校書道部の協力。

この箇所も栃尾青年会議所によるものだが、
次年度は栃尾青年会議所ではこの予算の捻出は
困難となるため実施に支援が必要。



同じく、栃尾青年会議所と栃尾高校の合作による
光のインスタレーション。



眼下の市街地からも、石段を飾る百八灯が
見える。

蠟燭の買い足しは毎年必要となるが、
ネットでかなり安価で探せる。

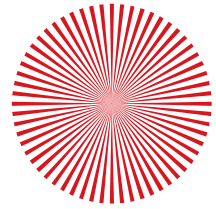
秋葉百八風鈴灯の様子と概要 3



秋葉神社を飾る無数の炎の灯。秋葉信仰の本山にふさわしい幻想的な雰囲気を出したい。

**もっとも支援を必要とする問題の箇所。ご覧の通りのしつらえなので、雨が降ると実施不可能となる。
現市長からも以下のような提言を受けた。
「雨対策を講じて、多少の荒天でも開催でき、地元の多くの方が楽しみにするようなイベントにして欲しい。」
トチオノアカリの発端となる事業であり、イベントの中心と位置付けているので、
雨に耐えられる灯籠の制作への支援を必要としています。**





秋葉百八
風鈴灯

満願成就
4修と
8行ち
km道お
パワースポット巡礼

パワースポット 事業の観光化

スタッフの増員 雨天時対策が 必要不可欠

継続してパワスポ巡りを →企画→助成金
してもらうための方策が必要。

地域や団体との効果的な連携

秋葉神社を灯で彩ることについて。

秋葉神社は火の神を祀るものである。秋葉神社やその周囲を彩る灯は、炎かそれを連想させるものである必要がある。

学校、企業、団体、グループなどから創作分野での参加を募る。

アート性の高さ、技術力の高さ、センスの良さ、協力することの美しさを形にして表現したものをインスタレーションとして、公園内に展示する。そのビジュアルについてはあるレベルでのガイドラインを設け、各参加者との間に相互のプレゼンテーションを実施し、各展示物それぞれの個性を強調しつつも、公園内全体では統一感のある空間を演出しなくてはならない。

来場者の導線確保による、近隣地域の巻き込み。

秋葉神社駐車場だけでなく、大野口駐車場も利用してもらう必要がある。大野口駐車場から会場まで、より楽しみながら歩けるルート。それらのルートにどのような案内としつらえを施すかを考案する。

灯以外のイベントのあり方と連携。

飲食は必要不可欠となる。また近隣住民、商店街の協力が必要となる。谷内通り商店街や、にぎわい委員会との連携が必要。

- 各団体の多大な協力を得られ、ほぼ達成できた。
- 年度内に計画ができると、学校などへの協力依頼がよりスムーズになるため、風鈴灯もランプ部会に倣い、それらを実施する必要がある。
- JCによる交通整理が大きく功を奏した。次年度はボランティアスタッフか市の職員を動員する。
- ナイトマルシェへの誘導には概ね成功した。ランプまつりのスタンプラリーが役立った。



アサヒビールだからこそその
イベントフードの発案など

商工会長

事務局
栃尾商工会

秋葉門前ナイトマルシェ

出店者による
グループ構築

確定

支援と管理

長岡市役所栃尾支所
商工観光課

支援

支援



スポンサリング
の可能性

ながおか・若者・
しごと機構

予算検討

助成金支援

助成金支援

満願成就
4修と
日行ち
km道お
パワースポット巡礼



地域活性化委員会
団体設立検討

谷内通り歩行者天国
出店者・出演者など

プロデュース及び
管理・支援

本部機能



代表・副代表
事務局2名
監査2名

アートやパフォーマンス
プロデュース及び支援



長岡市役所栃尾支所
地域委員会
ふるさと創生基金

実施人員



とちお
夜のランプまつり
とちラボ
ランプまつり
実施委員

インスタレーション
アーティスト
関連興味団体
学校など

課題と問題点 改善の素案



- ・開催期間の検討
- ・実施人員がいるか
- ・実施可能なのか
- ・巨大三尺坊設置費用
- ・ライトアップ諸費用



- ・人員不足
- ・コースの観光化について
- ・ボランティア募集
- ・イベントとの連携のあり方
- ・地域との連携
- ・効率の良いビジネス化
- ・事故対応他



- ・開催場所の検討
- ・谷内通りの有効な使用
- ・品切れ対策
- ・委員会のスタッフが管理専門に回れるか
- ・地域との連携
- ・参加店舗のさらなる充実



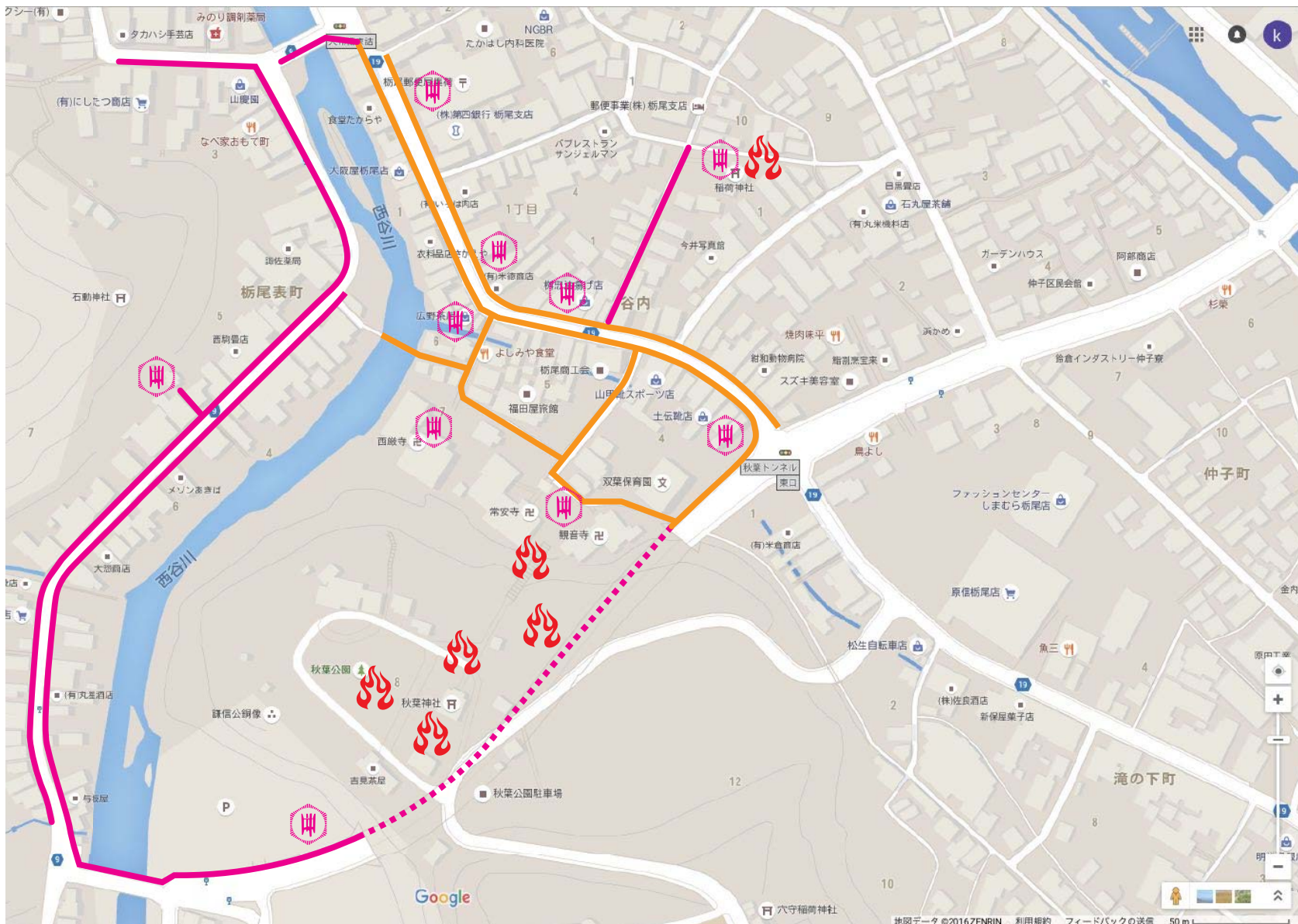
- ・人員不足
- ・交通規制について
- ・規模の拡張の是非
- ・インスタレーションとの連携
- ・他



- ・人員不足の解消
- ・雨天でも開催可能な方法
- ・物販（ろうそくなど）の売上向上
- ・修業道とのさらなる連携
- ・地域（学校など）との連携
- ・その他



拡張計画案



28年度

トンネル内

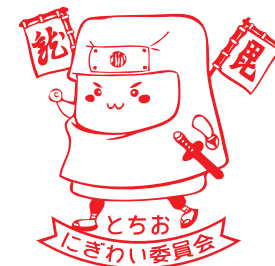
永続事業時の延長計画

インスタレーション

風鈴灯



予算と人員の確保について



予算について

JCとしての参加は
28年度のみ

しごと機構
拡張分のみ申請可能か

栃尾商工会からの実施予算は
28年度で終了

栃尾商工会及び
栃尾地域街なか集客交流促進事業

予算獲得案

トチオノアカリか
地域活性化委員会と統合か

しごと機構
拡張分のみ申請可能か

地域活性化委員会として団体設立検討中
ふるさと創生基金申請予定

28年度と大きな変更なし
実施可能

人材について

JCとしての参加は
28年度のみ

とちラボで継続も
スタッフの増員が必要

秋葉神社境内での灯を設置する
人員不足が最大の問題

27・28年度において
集客売上両面の実績あり

人材獲得案

人材募集の必要あり

とちラボ準構成員の構築と
参加特典などのアイデア

ボランティアスタッフ募集の
課題解決のための案が必要

27・28年度の実績により
参加店の増加も期待できる